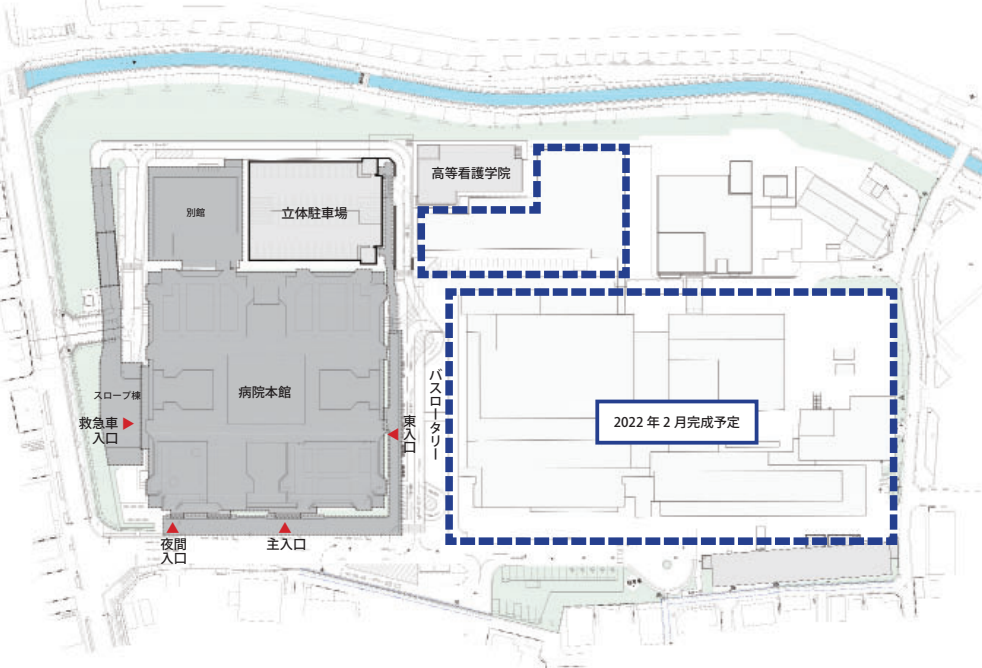


## ■ 配置計画



## ■ 建物概要

- ・建物名称 : さいたま市立病院
- ・所在地 : 埼玉県さいたま市緑区大字三室 2460 番地
- ・診療科 : 内科・消化器内科・精神科・脳神経内科・循環器内科・小児科・新生児内科・外科・消化器外科・血管外科・呼吸器外科・整形外科・リハビリテーション科・脳神経外科・心臓血管外科・小児外科・皮膚科・形成外科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・歯科口腔外科・放射線診断科・放射線治療科・麻酔科・救急科・病理診断科・緩和ケア内科 (計 29 科)

- ・建築主 : さいたま市
- ・設計・監理 : (株) 山下設計
- ・施工 : 鹿島・斎藤工業・松永建設特定共同企業体
- ・工期 : 2017 年 5 月 ~ 2019 年 11 月 (31 ヶ月)

- ・敷地面積 : 約 48,700 m<sup>2</sup>
- ・建築面積 : 約 9,000 m<sup>2</sup> (付属建屋除く)
- ・延べ面積 : 約 54,200 m<sup>2</sup> (付属建屋除く)
- ・階数 : 本館; 地上 10 階、別館; 地上 3 階建
- ・構造 : 本館; S+CFT 造 (免震構造)、別館; RC 造 (耐震構造)
- ・建物高さ : 約 44.8m (病院本館)
- ・病床数 : 637 床

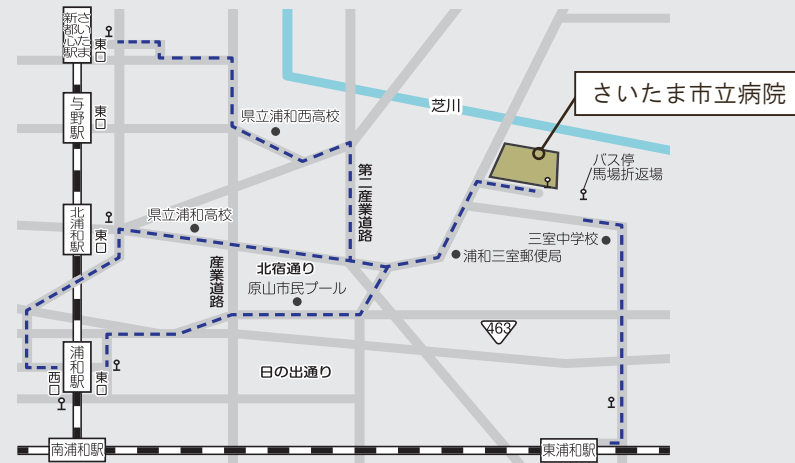
- ・設備概要 : 受電方式 / 3 φ 6.6kV 高圧 2 回線受電 (既設エネルギーセンターより構内受電)  
: 空調方式 / 外気処理空調機 + 空冷ヒートポンプエアコンまたはファンコイルユニット  
: 給水方式 / 受水槽 + 高架水槽方式、重力および加圧給水方式、上水・雑用水 2 系統配管  
: 給湯方式 / 貯湯槽 3 台 × 2 系統 (高層・低層)、中央循環方式  
: 排水設備 / 下水道本管へ放流。RI 排水、透析・中和・感染系排水処理設備設置  
: 消火設備 / 連結送水管設備、スプリンクラー消火設備、ハロンガス消火設備、厨房用簡易自動消火設備  
: 医療ガス設備 / 酸素、吸引、圧縮空気、窒素、二酸化炭素、余剰排気ガス設備  
: 自動搬送設備 / 小型高速搬送システム (トレイライナー)

- ・災害時対応設備 : 電源設備 / 2 回線受電: 非常用発電機 1,500kVA × 2 (既設エネルギーセンター設備利用)  
: 通信設備 / 衛星電話、各種防災無線  
: 給水設備 / 受水槽 300m<sup>3</sup> (既存設備)、高架水槽 (上水 10m<sup>3</sup> × 2 基、雑用水 7m<sup>3</sup> × 2 基)  
: 給湯設備 / 貯湯槽 4m<sup>3</sup> × 3 基 × 2 系統  
: 排水設備 / 災害時用排水貯留槽等 (300m<sup>3</sup>)  
: 医療ガス設備 / 緊急処置用アウトレット (酸素・吸引)

## 『心 (魂・志) を持った病院建築』

- ◆ 環境との調和  
病院の先進性や信頼性を体現するとともに、周辺の自然や住環境と調和してたたずむ外観
- ◆ ホスピタリティ  
患者さんをはじめ、利用者の心に寄り添い穏やかで癒される療養環境
- ◆ エレガント  
時代に左右されにくい上質さ、気品を有し未永く愛されるデザイン
  
- ◆ 医療の迅速化を追求する高密な機能連携
- ◆ 建物の低層化や豊かな緑の継承による地域環境の保全
- ◆ 周辺の交通環境を改善するスムーズな外部動線
- ◆ チーム医療を強化する「4 看護単位病棟」
- ◆ 直接ケアの時間を最大化する病室レイアウト

## ■ 案内図



- 北浦和駅東口バスターミナルから 東武バス 「さいたま市立病院」行 終点下車 (所要時間 15 分)
- 浦和駅東口から 国際興業バス 「南台」行 「市立病院」下車 (所要時間 20 分)
- 浦和駅西口から 東武バス 「さいたま市立病院」行 終点下車 (所要時間 25 分)
- 東浦和駅から 国際興業バス 「市立病院」行 終点下車 (所要時間 20 分)  
国際興業バス 「馬場折返し場」行 終点下車 (所要時間 15 分、徒歩 5 分)
  
- さいたま新都心駅東口から 東武バス 「さいたま市立病院」行 終点下車 (所要時間 30 分)
- 大宮駅東口から 東武バス 「さいたま市立病院」行 終点下車 (所要時間 40 分)

## さいたま市立病院 Saitama City Hospital

〒 336-8522 埼玉県さいたま市緑区大字三室 2460 番地  
TEL.048-873-4111

# さいたま市立病院 Saitama City Hospital



市民から信頼され、安心して暮らせる  
さいたま市のシンボル

## 理 念

- ・患者さんを尊重し、信頼される病院を目指す。
- ・科学的根拠に基づいた質の高い医療を提供する。
- ・地域の基幹病院として各医療機関との連携に努める。

## 基本方針

- ・患者さんの権利を尊重した医療を提供する。
- ・急性期医療を中心に高度な医療を提供する。
- ・救急、周産期母子、がん医療を積極的に推進する。
- ・地域の病診連携を積極的に推進する。
- ・高い技術と豊かな人間性をもつ医療人の育成に努める。
- ・自治体病院としての経営の健全化に努める。

# 階層構成

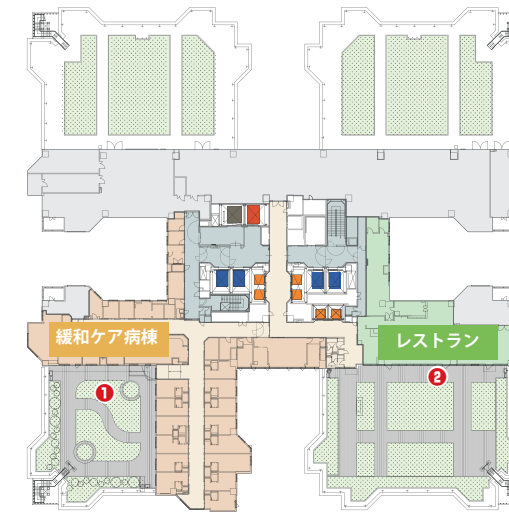
	屋上庭園	緩和ケア病棟 (20床)	レストラン	屋上庭園	PHF
	精神病棟 (30床) 結核病棟 (20床) 感染症病棟 (8床)	一般病棟 (40床) 一般病棟 (40床)	一般病棟 (40床) 一般病棟 (40床)	一般病棟 (40床) 一般病棟 (40床)	9F
	一般病棟 (40床) 一般病棟 (40床)	一般病棟 (40床) 一般病棟 (40床)	一般病棟 (38床) 一般病棟 (40床)	一般病棟 (40床) 一般病棟 (40床)	8F
	NICU (15床) GCU (18床) 小児病棟 (40床)	透析 / ME / 中材	手術 / ICU (8床) / HCU (20床)	外来 / 産科病棟 (40床) / 分娩	7F
	教育研修	アセンブリーホール / 管理	外来 / リハビリ / 化学療法	外来 / 検体検査 / 病理検査 / 生理検査	6F
	管理	薬剤 / 栄養 / 剖検 / 霊安 / SPD	外来 / 検体検査 / 病理検査 / 生理検査	小児外来 / 放射線 / 内視鏡 医事 / 患者支援センター	5F
	放射線治療 / 核医学	救急病棟 (20床) / 初療 救急外来 / 感染外来	小児外来 / 放射線 / 内視鏡 医事 / 患者支援センター		4F
					3F
					2F
					1F

■ 感染用 EV ■ 患者搬送・物品・スタッフ用 EV ■ 患者・外来用 EV ESC ■ 配膳用 EV



エントランスホール

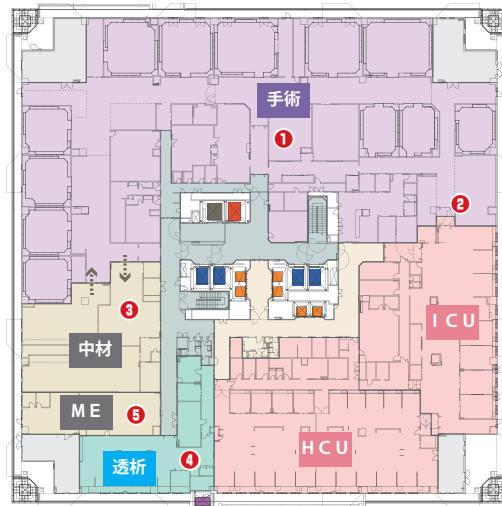
## 9階



屋上庭園

- 緩和ケア病棟の病室は20床を新設し、病棟専用の屋上庭園に面する
- 眺望の良い一般および職員利用のレストラン

## 4階



- 手術室は7室から12室へ、血管造影室は1室から2室へ増室し、ハイブリット手術室・手術支援ロボット(ダヴィンチ)を設置
- ICUは5床から8床へ、HCUは16床から20床へ増床し、手術エリアと連続的に近接配置させ高度集中治療機能の連携強化
- 手術と中材の隣接配置による迅速・確実な滅菌器材搬送
- 透析とHCU・ICUの集約による透析設備の共用化
- MEと透析、手術、ICU、HCUの1フロア配置による医療機器の管理効率化

## 5階

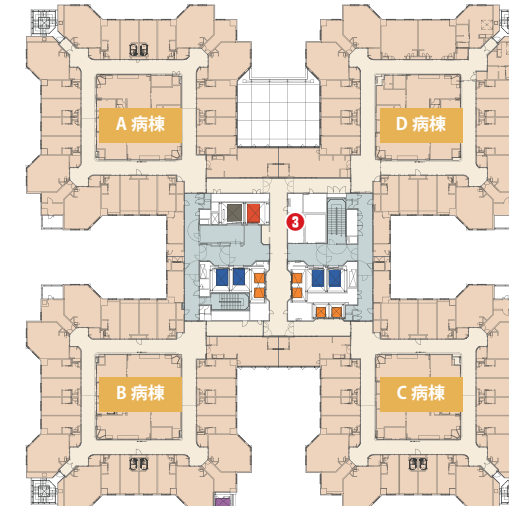


- 地域周産期母子医療センター(産科病棟(分娩)・NICU・GCU、外来)及び、小児病棟を1フロアに集約し、成育母子医療センターとして整備
- 分娩とNICU・産科病棟の隣接設置による連携強化



5階外来待合

## 6~8階



- 関連する診療科の集約配置が容易な1フロア看護単位の病棟
- 病棟A・B、病棟C・Dがスタッフ専用エリアで接続される「2看護単位x2」の構成
- 中央に置いたスタッフステーションを病室が囲むように配置し、患者の状態に気が付きやすく、対応しやすい病棟計画
- 8階には、精神科身体合併症病床30床を新設。結核20床・感染症病棟8床は、感染専用エレベーターにより、外来と直結



一般病棟スタッフステーション

## 1階



患者支援センター

- 明るく開放的な2層吹抜けのエントランスホール
- 救急病棟20床を新設、初療室内にX線TV室やCT室を設置し、迅速な画像検査が可能
- 放射線治療室を1室から2室に増室 放射線治療機器「サイバーナイフ」を新たに導入
- 救急外来・感染外来・小児外来を集約配置し、感染エリアを独立化 外来と小児病棟、結核・感染症病棟に直結する感染専用エレベーターを設置
- 救急車両のアプローチを一般車両動線と区別
- 落ち着いた雰囲気患者支援センター

## 2階



外来待合

- 外来診療室をブロック化して配置し、各階に計算用受付を設け、会計の待ち時間を短縮化
- 外来と同じ並びに検査部門を配置
- 別館に管理機能(ロッカー、会議室他)を一体配置
- 明るく開放的な図書コーナーを新設

## 3階



アセンブリーホール

- 外来診療室をブロック化して配置し、各階に計算用受付を設け、会計の待ち時間を短縮化
- 化学療法室は、10ベッドから20ベッドに拡張し、がんサロンを併設
- 外来・管理部門と同じフロアとしたアクセスしやすいアメニティ(コンビニ・講堂)
- アセンブリーホール(講堂)は、災害時に患者収容可能な設備を完備
- 明るい南面に位置した患者用ラウンジ